

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 221

2011年

7～8月号

行 事 案 内

7月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 7月10日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 いよいよ夏本番を迎える時期の探鳥です。沼の葦原でオオヨシキリがにぎやかに囀るなか、水辺には水鳥の家族が、上空にはヨシゴイが難に餌を運んで飛び、コアジサシが水面にダイビング。水田にはチュウサギ、アマサギ、森にはサシバなど夏鳥たちの探鳥を楽しみましょう！暑さ対策をお忘れなく。

解 散 正午
担 当 浅井

ホタルの夕べ

期 日 7月31日(日) 雨天中止
集 合 東我孫子駅前 午後7時
持 参 懐中電灯、虫除け対策
解 散 午後8時を目安。東我孫子駅前
案 内 恒例の岡発戸・都部でのホタル鑑賞会です。谷津田は整備されてきて、水辺や湿地の生物も増えてきています。今年はヘイケボタルが去年以上観察されるのでしょうか。去年は100頭超でした。楽しみです。
申 込 不要
担 当 木村、染谷

8月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 8月14日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 真夏の盛りですが、シギチの渡りが待ち遠しくなってくる季節です。手賀沼周辺の水田に足を伸ばすのも一考です。手賀沼の水鳥や夏鳥も子育てを終え、幼鳥が見られるかも知れません。子育ての行動をじっくり観察したり、成長と幼鳥の違いも実感できるでしょう。暑さ対策と水分補給も忘れずに。

解 散 正午
担 当 桑森

映 写 会

期 日 7月23日(土) 午後1時30分～午後4時00分
場 所 水の館3階研修室
案 内 会員の撮った写真やビデオを映写して楽しめます。作品を発表する方は7月15日(金)までに、吉田宛に写真の種類、枚数またはビデオの上映時間を連絡してください。写真はスライド、デジタル画像のいずれでも構いません。但し、内容は鳥や動物など自然関連のものとし、一人40枚以内とします。デジタル画像ファイルは下記でお願いします。

メディア：USBメモリー、CDR。

ファイルは一括コピーできるよう
発表者名のついたフォルダーに収納。

ファイル名:番号・題名・撮影場所・
日付・拡張子

[例]

01 ムナグロ北新田 070501.jpeg(北新田
で 07/05/01 撮影)番号は映写順番号(昇
順、途中の欠番可)、数字は半角 2 桁 1
~9 は 01~09 とする。

画像サイズ:横 1024 ピクセル以内。
発表作品は当日持参してください。但し、
デジタル画像は開始前にパソコンにイ
ンストールしますので午後 1 時まで
に持参、提出してください。

連絡先 吉田隆行

Tel : 04 - 7163 - 9443

その他 映写会終了後恒例の納涼会(別途案
内)があります。そちらも是非ご参加下
さい。

担 当 吉田、野口(隆)

納 涼 会

期 日 7月23日(土) 午後5時30分

場 所 「庄や」我孫子北口店
我孫子市我孫子1-1-16
Tel : 04 - 7185 - 3953

会 費 3,000 円

案 内 映写会後の懇親、暑気払いの会です。
今年も猛暑の夏がやって来そう
です。大いに飲んで食べて、楽しいひ
とときを過ごしましょう。皆さんふ
るってご参加ください。

申 込 北原建郎まで

Tel : 04 - 7183 - 4683

担 当 北原、染谷

茨城南部 稲敷 探鳥会

期 日 8月21日(日) 雨天中止
集 合 我孫子駅北口 午前8時

交 通 自家用車に分乗です。同乗者は運
転者に各 1500 円をお支払下さい。車
を提供できる方はその旨をご連絡
下さい。

案 内 行き先は、今年も茨城県稲敷方面
です。シギ・チドリなどを探しま
す。現地は、車内以外に日陰は皆
無です。暑さ対策を忘れずにお願
いします。震災によるルート変更
も一部分ありますが、概ね今年の
探鳥地を確認できました。

持 物 観察用具、雨具、昼食・飲料水(途
中のコンビニで購入可)

申 込 松田幸保まで

Tel : 04 - 7182 - 8307

担 当 松田、松本

7月幹事会案内

日 時 7月10日(日) 13:00~16:30

場 所 水の館 3階 研習室

議 題

1. JBF の参加内容の検討と担当について
2. ほーほーどり 222 号記載記事について
3. 創立 40 周年記念事業について
4. その他

手賀沼学会大会開催のお知らせ

日 時 7月16日(土) 13:30~

会 場 中央学院大学
30周年記念館 611 教室

基調講演

講 師 柏市史編纂委員 中村 勝氏

テーマ 「江戸時代の洪水と手賀沼干拓」

基調講演

講 師 手賀沼学会運営委員 相原正義氏

テーマ 「利根川・人為による河川の変化と
手賀沼の洪水」

基調講演

講 師 中央学院大学教授 川崎勇二氏

テーマ 「箱根駅伝への道」

問合せ : 04 - 7183 - 6522

行 事 報 告

4 月手賀沼探鳥会

調査日時 2011. 4.10 9:00~12:00

晴 弱風 気温 17

冬鳥は徐々に姿を消し、旅鳥のコチドリや夏鳥であるツバメが見られるなど、季節とともに鳥たちの顔ぶれも入れ替わりつつあります。ハヤブサがヒヨドリを捕食する場面は圧巻でした。

< 認めた鳥 > カイツブリ、カンムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、スズガモ、トビ、オオタカ、ハヤブサ、キジ、バン、オオバン、コチドリ、ユリカモメ、キジバト、カワセミ、コゲラ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、ツグミ、ウグイス、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 39 種 番外 エジプトガン、カワラバト

< 探鳥班 > 佐々木隆、桑森亮、染谷良子、肥後邦彦、北原建郎、村瀬和則、野口隆也、西城猛、大久保陸夫、大矢篤、田丸喜昭、田丸メリールイス、中野久夫、宮下三禮、猪爪敏夫、吉田隆行、松田幸保、六角昭男、谷山晴男、武藤康之、田中恒雄、類地佑子、松下勝子、間野吉幸、船津登、石渡成紀、天野正臣、天野睦子、西嶋昭生、小玉文夫、岩田孝之、鈴木静治 (担当) 小林寿美子、野口紀子 参加者 34 名

< カウント班 > 田中功、木村稔、染谷迪夫
調査日時 2011.4.10 9:15~11:45

晴後曇り 気温 15

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	15	5	20
カンムリカイツブリ	2	0	2
カウ	17	44	61
ダイサギ	2	0	2

チュウサギ	0	1	1
コサギ	3	2	5
アオサギ	8	0	8
コブハクチョウ	13	5	18
マガモ	0	1	1
カルガモ	12	30	42
コガモ	53	0	53
キンクロハジロ	0	1	1
バン	1	0	1
オオバン	55	11	66
イソギ	1	0	1
ユリカモ	10	4	14
セグロセキレイ	1	2	3
合計	193	106	299

5 月手賀沼探鳥会

5 月の定例探鳥会は例年通り「第 22 回バードウィーク手賀沼探鳥会」として実施いたしました。

調査日時 5 月 8 日 9:00~12:00

< 認めた鳥 > カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、キジ、バン、オオバン、ユリカモメ、アジサシ、コアジサシ、キジバト、カワセミ、ヒバリ、ツバメ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 34 種 番外 カワラバト、バリケン

< 探鳥班 > 間野吉幸、宮下三禮、田丸喜昭、野口隆也、佐々木隆、渡辺正夫、田中功、松下勝子、大矢篤、川越久枝、金子幸子、野口紀子、小林寿美子、染谷迪夫、田中悟、浅井久、栗田励、猪爪敏夫、六角昭男、類地佑子、小林秀美、吉田隆行、小林孝夫、松田幸保、

田中恒雄、石渡成紀、古出洋子、松村洋子、
松本勝英、小玉文夫 参加者 30 名

葛西臨海公園探鳥会

4月16日

【2011 Enjoy手賀沼！第22回バードウィーク手賀沼探鳥会 報告】 猪爪敏夫
(5月定例探鳥会と同時開催)

日時 5月8日(日) 9:00~12:00

場所 手賀沼親水広場から徒歩で手賀沼
周辺を探鳥後、鳥博館駐車場で鳥合
わせ後解散

今年のGWの最終日が最高の晴天に恵まれ、
関東地方各地は気温が真夏日まで上がり、バ
ードウィーク(5月10日~16日)にふさわ
しいイベントとなりました。

参加者は
会員~30名
鳥博~2名
一般~29名(6班に分ける)と
まさにマン・ツーマンの指導体制で取り組み、
その結果、各班とも約30種類の探鳥ができた。
一般参加は、親子連れが多かったが、
東日本大震災の影響か、参加者数はやや少な
めに感じました。

<カウント班> 木村稔、染谷迪夫
調査日時 2011.5.9 8:00~10:50
晴 気温 20

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	6	6	12
カムリカイツブリ	2	0	2
カウ	15	31	46
ダイキ	0	1	1
コサギ	0	3	3
アオサギ	1	2	3
コブハクチョウ	21	15	36
マガモ	2	0	2
カガモ	9	12	21
コガモ	0	15	15
キンクロハジロ	0	1	1
バン	0	1	1
オバン	4	3	7
イソギ	1	0	1
アジサシ	0	1	1
コアジサシ	3	2	5
合計	64	93	157

残念ながら、クロツラヘラサギは

岩田マキエ

楽しみにしていた探鳥会の前日は一日中
風が吹き荒れ当日の朝もまったく鎮まる気
配なし。先月来の本震、続く余震ですっかり
地震酔いとなりフラフラの状態になってい
たけれど、とにかく行こうと家を出た。

我孫子駅から11名、新松戸で1名、現地
合流の2名でスタートした。やわらかな若
葉の緑に包まれ、白いライラックが何本か続
く道を汽水池の方に進んでいると、「ようこ
そ、いらっしやい」と前方からアオジ1羽が
現れ我々のすぐ側を通過して草地で餌を啄ん
だ。観察池からは、コガモ、マガモ、オオバ
ン、サギ等が見え、何羽かのキンクロハジロ
はゆっくり動いていたけれどホシハジロは
あの茶色い頭を羽の方にもぐらせてジーツ
と動かない。さっそく省エネですか？

道ぞいの樹から樹へオナガが翔んだが、幸
いあの美しくない啼き声を聞かずにすんで
ホットした。姿は見えなかったが頭上からメ
ジロのきれいな声がおりにきた時には参加
して良かった、癒されるとつくづく感謝。

ゆっくりと舞うトビ、低空飛翔のチュウヒ
も肉眼でしっかり捉えることが出来たが、思
ったほどの鳥は現れなかったのでウオッチ
ングセンターはパス。

強風の海辺に出てコチドリを観察、眼の縁
の黄色、頭部から首・腹への黒と白のコント
ラストがはっきりしていて「小さいけれど自
己主張が強くてよるしい」と呟いてしまった。
渚橋を渡ってスズガモの群れを確認する。以
前来た時にスズガモの大群が煙のように舞
い上がり又海面すれすれを流れるように移
動したっけ、となつかしく思い出した。ミヤ
コドリもちゃんと姿を現し昔はカモメが都
鳥として歌や物語に記され、可哀相にねと余
分なことを思ってしまった。

風の強くないパーベキュー広場側の東屋
で昼食中に震度4の揺れ、まさかここまで地
震に追っかけられるとは一。

何日か前にクロツラヘラサギを見た人が
いて、いささかの期待をしていたのに外れ、

でも友人が撮られたというすばらしいスナップショットを持ってこられた人もいてそれで我慢する。

昼食後、前回ムシクイを見た場所に移動したけどアオジが1羽いたのみ、そこから海辺に出るとのんびり浮いているハジロカイツブリの何羽かとイソシギが見えた。3羽位の翔んでいる姿と堤防にとどまっていた1羽をゆっくり観ることが出来た。「“いそしぎ”という映画を見た」「イソシギは出なかったよね」「音楽がよかった」等と往時をなつかしみ帰途に着いた。

園の調査員の話ではここ1週間ばかりオオタカが現れたのが鳥の少ない一因かものことでした。鳥はいささか少なかったけどそれを補うように花々がサービスしてくれた。満開の大島桜、盛りは過ぎていたけど吉野桜、月桂樹の淡い黄色の花、大きな桐に沢山の蕾、西洋石楠花、躑躅、花蘇芳の花木も多く、足元には薄紫の花菰、黄色の小米詰草など咲いており、女性二人は「今日はいいお花見も出来た。」と大満足でした。

今回はシギ類が少なかったとか、鳥合わせをしたら大先輩の見られた鳥の半分位しか私は見ていなかったけど、とてもとても楽しかったです。幹事さん、みなさんありがとうございました。

【幹事報告】

前日まで心配された雨はなかったが、風がかなり強い天候の中での探鳥会となった。「鳥類園」ではここ数日出現したオオタカの影響か、野鳥の数は少なかった。「西なぎさ」付近ではコチドリ、ハジロカイツブリ、ミヤコドリ等が観察された。珍種はないものの44種の鳥を観察することができた。ご参加の皆様、お疲れ様でした。

<認めた鳥>カイツブリ、ハジロカイツブリ、カムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、スズガモ、トビ、チュウヒ、オオバン、ミヤコドリ、コチドリ、イソシギ、セイタカシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、ヒバリ、ツバメ、イワツバメ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ウグイス、シジュウカラ、メジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、オ

ナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計43種 番外 カワラバト

<参加者>鈴木静治、岩田孝之、岩田マキ工、大久保陸夫、吉田隆行、中野久夫、桑森亮、小玉文夫、田中功、柴本三弘、柴本法子、金子雅幸（幹事）松田幸保、野口隆也

参加者 14名

筑波山探鳥会

5月15日

コルリの声に感謝して

弘實さと子

快晴の清々しい朝、7時5分に我孫子北口を出発しました。黄砂の影響でやや霞んでいましたが、素晴らしい登山日より。残念なことに東日本大震災で元ユースホテル側の登山道が通行止めの為ケーブルカーで御幸ヶ原に登りました。途中、トウゴクミツバツツジの赤紫の花や、日差しに輝いた若葉が出迎えてくれました。

御幸ヶ原から元ユースホテル側の登山道を下って探鳥しました。ウグイスやソウシチョウの美しい囀り。ソウシチョウは数が多く鳴き声が華やかなため、ウグイスの囀りがおさかれていて「ウグイス、がんばって！」と思いながら探鳥しました。誰かが「ソウシチョウは中国語、ウグイスは日本語で鳴いているみたい」。何となく納得。コルリの前奏曲が聞こえて、次に本番。しばらく聞き入ってしまいました。近くで長い間囀ってくれたので、姿も見る事が出来ました。

「もう少し降りれば、オオルリの声も聞こえるかもしれない」とのことで、700メートルほど下りました。オオルリの声は聞こえませんでした。ツツドリ、ホトトギス、ヤブサメの声が聞こえてきました。小さいヤブサメに大きいツツドリが拓卵するなんて……。自然界の生存競争にやや悲しい思いもします。以前、子供のホトトギスとウグイスと一緒に止まっているのを見たことが有ります。種が違っても親

は本当に自分の子とってしまうのですね。知人が「ウグイスと一緒にいたホトトギスがウグイスの囀りらしく鳴いて最後に自分の地の声が出てしまって面白かった」と言っていました。

探鳥っていろいろなことに出会えるので面白いですね！

帰りはニリンソウなどの山の花を見ながら登って御幸ヶ原に戻りました。自然探勝路を時計回りに歩き、ヤマエンゴサク、タチツボスミレ、チゴユリ、ユキザサ、マルバスミレ、ヤマブキソウなどの山の花を堪能しました。竹の花を初めて見た人がとても感激していました。

今の季節の探鳥は木の葉に隠れて姿を見る事が難しいので声が頼りです。声から鳥の名前を教えていただけて本当にありがとうございました。初めて探鳥会に参加しましたがとても楽しい時間を過ごさせていただきました。特にコルリの素晴らしい声は忘れられません。

[幹事報告]

3/11 の大震災でユース Hostel 跡の手前の道に亀裂が入り車の乗り入れが禁止されました。亀裂の箇所から歩いて登るのは大変で、車の駐車もままならないため、今回は筑波神社よりケーブルカーを利用して御幸ヶ原に登ることにしました。そこからユース Hostel 側へ約 700m 降りて探鳥し、その後また御幸ヶ原へ登って戻りました。自然研究路の途中で昼食を摂りながら周遊したため、時間不足となり薬王院での探鳥は断念しました。

今回はオオルリ、キビタキは観察できなかったが、ツツドリ、ホトトギスの声を聞くことができ、ニリンソウ、トウゴクミツバツジの花を愛でることが出来ました。

< 認めた鳥 > チュウサギ、コサギ、カルガモ、トビ、キジバト、ツツドリ、ホトトギス、アオゲラ、コゲラ、ツバメ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、コルリ、ヤブサメ、ウグイス、センダイムシクイ、エナガ、コガラ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 計 27 種
番外：ソウシチョウ

< 参加者 > 北原建夫、金子雅幸、中根文世、山田哲生、間野吉幸、畠中暁美、弘實さと子、植田啓介、小玉文夫、小玉信子、松下勝子、市村偕子、脇谷房子、吉田隆行、松村洋子（幹事）染谷迪夫、鈴木静治 参加者 17 名

八千穂高原探鳥会

5月21日、22日

待望のコマドリに会えました！

山住良子

7時、我孫子出発。少々気温は、高めでしたが、上々のお天気でした。最初の探鳥地、白駒池の駐車場わきの案内センターで、お弁当を食べ、探鳥に出かけました。苔に覆われた原生林の中の路は、残雪がシャーベット状に固まり、足元を気にしながらの探鳥となりました。雌雄のクイタダキに先ず会えました。カラ類が盛んに鳴いている新緑の林の中、キビタキの黄色が一段と美しく映えました。アオジも“我ここにあり”とばかり、美しい声で鳴いていました。原生林の中の白駒池は、静寂で神秘的な湖でした。次の探鳥地、八千穂高原自然園は整えられた遊歩道が続き、白樺林の中はトウゴクミツバツツジ等のツツジの群生地となっており、シロバナエンレイソウ等の可憐な高山の草花も見られました。もみじ滝に続く渓谷の中、キセキレイとカワガラスが流れの中の岩と兩岸の木々を気忙しく、飛びかっていました。信濃路自然歩道を抜けて、スキーゲレンデ横の我々の宿の山荘に着くと、餌場に雌雄のウソ数羽がすでに来ていました。アカゲラも我々を迎えてくれました。いろいろ気遣いが感じられる気持ちの良い宿で、夕食の中華もおいしくいただきました。お酒も入り、いつも同様の和気あいあいの夕食風景でした。翌日早朝探鳥に5時出発。朝日を受けての白樺林は、とりわけ美しく輝いていました。小さな沢の中を歩ききると、そこがコマドリに会える秘密の場所でした。早朝にもかかわらず、数人がカメラを構えてスタンバイしていました。我々大勢がやって来て、少々迷惑顔でした。期待どおりコマドリに会えました！我々に向かって、尾を立て、広げ、ヒンカラララ〜と朗らかに

に大きな声で鳴いてくれたのには、感動しました。その滝の前でカモシカに会えるというおまけも付きました。かなりの至近距離でしたので、こわごわ見ている内に姿が消えました。宿に帰り朝食を済ませ、9時出発。駒出池から水無川沿いを探鳥しました。コサメビタキ、キビタキ等を見て、メボソムシクイ、クロツグミの声を聞き、白樺やカラマツ林の路を時間をかけて、ゆっくり歩きました。コルリの声を耳にし、執拗に姿を探し、ようやく見つけました。山の中で会うと、うれしくなる鳥です。エナガ、ヤマガラにも会えました。樹齢数百年の原生林、日本一美しいと定評のある白樺林、静寂な白駒池、溪谷の流れ。探鳥を楽しんだのは勿論ですが、美しい自然にもすっかり気を奪われた今回の探鳥会でした。幹事の桑森様、松本様、大変お世話になり有難うございました。

【幹事報告】

当会としては7年ぶりの八千穂高原で、白駒池、自然園周辺の他、宿舎のご主人から鳥の出現情報を得て、探鳥ポイントを当初予定から少し変更し駒出池から水無川などを探鳥してきました。

白駒池は残雪が残り芽吹きもこれからといった感で、囀りにはやや早かったようですが、キクイタダキの声は良く聞こえました。早朝探鳥ではコマドリやエゾムシクイも間

近で見られ、水無川沿いの山道ではオオルリ、コルリ、キビタキなど、期待した夏鳥や高原の鳥がほぼ観察できました。ただ、カッコウ科の鳥が少なかったのが少し残念でした。

<認めた鳥>カルガモ、トビ、ノスリ、キジバト、ジュウイチ、カッコウ、ホトトギス、アマツバメ、アオゲラ、アカゲラ、コゲラ、ツバメ、イワツバメ、キセキレイ、サンショウクイ、ヒヨドリ、カワガラス、ミソサザイ、コマドリ、コルリ、ルリビタキ、クロツグミ、アカハラ、ヤブサメ、ウゲイス、メボソムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、キクイタダキ、キビタキ、オオルリ、コサメビタキ、エナガ、コガラ、ヒガラ、ヤマガラ、シジュウカラ、ゴジュウカラ、メジロ、ホオジロ、ノジコ、アオジ、カワラヒワ、ウソ、イカル、スズメ、ムクドリ、カケス、ハシブトガラス 計49種

<参加者>間野吉幸、野口隆也、野口洋子、天野正臣、天野睦子、山住良子、中西榮子、田中功、金子雅幸、田中恒雄、古出洋子、鈴木幸子、古賀嗣朗、鳩川堯、永井真人
(担当幹事)松本勝英、桑森亮

参加者 17名

鳥 だ よ り

- 03.24 [千間橋] /スリ(1) 高压電線鉄塔にとまる 鈴木静治
03.24 [千間橋] フヨウノヅ(1) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
03.24 [布瀬] 材カ(1) 小鳥を捕えるため 葦の茂みに飛び込む 鈴木静治
03.24 [布瀬] ヒ(1) 上空を飛ばす 鈴木静治
03.24 [布瀬] フヨウノヅ(1) 上空を飛ばす 鈴木静治

- 03.25 [下沼田] /スリ(1) 田の杭にとまる 鈴木静治
03.25 [千間橋] 材カ(2) 葦にとまる 鈴木静治
03.25 [千間橋] フヨウノヅ(2) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
03.27 [中沼田] ヒ(1) 上空を鳴きながら飛ばす 鈴木静治
03.27 [中沼田] /スリ(1) 上空を飛ばす 鈴木静治

- 03.27 [布佐平和台] フョウゲノホウ(1) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
03.28 [千間橋] ヒ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 03.29 [千間橋] 材カ(3) 葦の穂先にとまる 鈴木静治
- 03.29 [北新田] フョウゲノホウ(2) 電柱から飛去 中野久夫
- 03.31 [江蔵地] ヌメ(1) 池の上を飛ぶ 鈴木静治
- 04.01 [江蔵地] ノリ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 04.01 [布佐平和台] ツミ(1) 電柱にとまる 鈴木静治
- 04.01 [つくし野] ヌサギ(1) 排水路で採餌 中野久夫
- 04.02 [千間橋] ヒ(1) 上空を飛ぶ 鈴木静治
- 04.02 [布佐平和台] ツミ(1) 電線にとまる 鈴木静治
- 04.03 [古戸] マリ(約 100) 川原の草原で採餌 鈴木静治
- 04.04 [江蔵地] ノリ(1) 樹の枝にとまる 鈴木静治
- 04.04 [江蔵地] ヒ(2) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
- 04.04 [江蔵地] フョウゲノホウ(1) 停飛し、獲物を狙う 鈴木静治
- 04.04 [江蔵地] ハイロチュウ(1) 葦原上を飛ぶ 鈴木静治
- 04.05 [布佐平和台] ツミ(2) 2羽が常緑樹の中にとまる 鈴木静治
- 04.06 [江蔵地] ハイロチュウ(1) 葦原上を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 04.06 [布佐平和台] ツミ(2) 2羽が常緑樹にとまる 鈴木静治
- 04.07 [布佐平和台] ツミ(2) 2羽 が電線にとまり鳴きあう 鈴木静治
- 04.07 [北新田] ノリ(2) 越流堤横柳上 中野久夫
- 04.08 [北新田] ハイロチュウ(1) 、飛翔 中野久夫
- 04.10 [片山] サバ(1) 12:05、鳴きながら林縁を移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 04.10 [千間橋] 材カ(1) 枯れた葦の茎にとまる 鈴木静治
- 04.10 [手賀沼辺] ヒ(1) 下沼 1
- 04.10 [大井新田先手賀沼] セッカ(1) 13:50、遊歩道脇を鳴きながら移動 飯泉仁・飯泉久美子
- 04.11 [千間橋] 材カ(2) 枯れた葦にとまる 鈴木静治
- 04.13 [千間橋] ヒ(1) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
- 04.13 [千間橋] フョウゲノホウ(1) 夕暮れ時田を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 04.13 [布佐平和台] ツミ(1) 常緑樹中より飛び出す 鈴木静治
- 04.13 [発作] フョウゲノホウ(1) 上空を高く舞う 鈴木静治
- 04.13 [千間橋] セッカ(1) 川原の葦で囀る 鈴木静治
- 04.14 [江蔵地] ハイロチュウ(1) 葦原上を低空で飛ぶ 鈴木静治
- 04.14 [江蔵地] フョウゲノホウ(1) ツグミの捕獲に失敗、カラスに追われる 鈴木静治
- 04.14 [千間橋] ヒ(1) 上空でカラスに絡まれる 鈴木静治
- 04.14 [布佐平和台] ツミ(1) 常緑樹に飛び込む 鈴木静治
- 04.14 [北新田] ハブサ(1) 畦から飛立ち 中野久夫
- 04.22 [北新田] ハブサ(1) 電線上 中野久夫
- 04.22 [北新田] フョウゲノホウ(2) 電柱から飛去 中野久夫
- 04.25 [北新田] オヨシキリ(3) ヨシ原で囀り 中野久夫
- 04.25 [布佐平和台] フョウゲノホウ(1) 住宅上空を飛ぶ 鈴木静治
- 04.26 [発作] オヨシキリ(1) 葦の若芽の間で鳴く 鈴木静治
- 04.27 [千間橋] ヒ(1) 獲物を探しながら飛ぶ 鈴木静治
- 04.27 [布佐] ツミ(1) 獲物を足に持ち鳴きながら飛ぶ 鈴木静治
- 04.28 [北新田] ウズラシギ(1) ムナグロの群れ中 中野久夫
- 04.29 [布佐平和台] ヒ(1) 住宅上空を飛ぶ 鈴木静治
- 05.01 [酒井根] ヒメ(1) 11:12、林縁で囀っていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 05.01 [酒井根] 材カ(1) 11:16、キジバト

とツバメに追尾されながら出現

- 飯泉仁・飯泉久美子
 05.01 [布佐平和台] ハブサ(1) 住宅の上空を飛ぶ 鈴木静治
 05.05 [千間橋] ツグミ(1) 堤防上の道より草むらに入る 鈴木静治
 05.08 [片山新田先手賀沼] ヒバ(1) 15:24、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
 05.08 [中原] ヒバ(1) 早朝、林の中で囀る 飯泉仁
 05.08 [中原] ヒバ(2) 早朝、林の西端と東端で同時に囀る 飯泉仁
 05.08 [中原] ヒバ(1) 8:10、林の中で囀る 飯泉仁
 05.08 [布瀬] フウボウ(1) 11:18、田圃で採餌 飯泉仁・飯泉久美子
 05.08 [布佐] ノスリ(1) 葦原で雉の鳴き声に驚き大木の中に隠れる 鈴木静治
 05.08 [布佐] ヒバ(1) 葦原を低空飛翔する 鈴木静治
 05.09 [高野山] センダイムシクイ(1) 囀り 茂田良光
 05.09 [手賀沼辺] サバ(1) 上沼1 染谷迪夫・木村稔
 05.10 [中原] ヒバ(1) 9:20、林の中で囀っていた 飯泉久美子
 05.12 [千間橋] ヒバ(1) 獲物を狙い水田上を低空飛翔する 鈴木静治
 05.13 [千間橋] コサシギ(3) 停空飛翔後川に飛び込み魚をくわえ、鳴きながら田の上を飛ぶ 鈴木静治
 05.14 [岡発戸新田] ヒバ(1) はるか上空を飛ぶ 鈴木静治・谷山晴男・間野吉幸
 05.15 [北新田] ヒバ(1) 河川敷で鳴き声 中野久夫
 05.18 [中峠利根川ゆうゆう公園] コサシギ(1) 囀り 大久保陸夫

今回寄せられた鳥の全種名

<山野の鳥>
 アオジ、アカハラ、ウグイス、エナガ、オオタカ、オナガ、カワラヒワ、キジ、キジバト、キビタキ、コイカル、コゲラ、コヨシキリ、サシバ、シジュウカラ、シメ、シラコバト、シロハラ、スズメ、セグロセキレイ、セッカ、

センダイムシクイ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トビ、ノスリ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒバリ、ヒヨドリ、フクロウ、ホオアカ、ホオジロ、ホトトギス、マヒワ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ 計41種

<水辺の鳥>

アオサギ、アカエリカイツブリ、アジサシ、アマサギ、イソシギ、ウズラシギ、オオジュリン、オオバン、オオヨシキリ、カイツブリ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カンムリカイツブリ、キアシシギ、キョウジョシギ、キンクロハジロ、クイナ、クサシギ、コアジサシ、ゴイサギ、コガモ、コサギ、コチドリ、コブハクチョウ、セグロカモメ、ダイサギ、タシギ、タヒバリ、タマシギ、チュウサギ、チュウシャクシギ、ハイイロチュウヒ、ハクセキレイ、ハシビロガモ、ハマシギ、ハヤブサ、バン、マガモ、ムナグロ、ユリカモメ 計41種

合計 82種

<番外種>

アヒル、カワラバト、コジュケイ

今回の投稿者の総投稿件数

浅井芝樹	1
飯泉久美子	2
飯泉仁	294
飯泉仁・飯泉久美子	135
大久保陸夫	1
茂田良光	1
首藤佑吉	1
鈴木静治	125
鈴木静治・大久保陸夫	1
鈴木静治・谷山晴男・間野吉幸	22
鈴木静治・田中功	8
染谷迪夫・木村稔	17
染谷迪夫・木村稔・田中功	22
田中功	6
中野久夫	57
仲村昇・平岡考	1
平岡考	1
総計	695

(浅井 久)

40周年記念事業関連のお知らせ

40周年記念誌（一般向）の「題名」を募集致します！

只今、我孫子野鳥を守る会の40周年記念事業の一つとして40周年記念誌（一般向）を制作中です。

多数の会員の皆様に参加頂いて、手賀沼周辺の「7つの散歩コース」を1回/月程度散歩しながら、身近な「鳥」、鳥の好む「草木など」を結びつけた調査を行っております。狙いは一般の方々が「鳥」と鳥の好む「草木など」と親しむことにより、手賀沼周辺の四季を通じた散歩をより楽しいものにすることができればと思っております。

写真は会員の撮った写真、文章も会員の手作り・・・現在「冬版」「春版」まで漕ぎつけております。

つきましては、会員の皆様にこの「本の題名」を付けて頂ければと思います。

募集期間 平成23年7月1日（金）～7月31日（日）（1ヶ月間）

宛先 野口隆也まで FAX：04-7163-7898

選考 8月の記念誌メンバー会議にて検討予定

9月の幹事会にて承認予定

発表 本誌11～12月号に掲載予定

世話役 野口隆也、佐々木隆、鈴木静治、松下勝子

40周年記念誌（一般向）散歩コース観察会のご案内

各散歩コースと観察予定日時・集合場所等は次の通りです。

お近くにお住まいの方、鳥の好む「草木」に興味ある方、大歓迎です。

尚、観察予定日は天候等の事情で変更の場合がありますので、参加ご希望の方は下記世話役までご連絡ください。

	散歩観察コース	散歩観察日	集合時間	集合場所
G1	手賀沼公園～手賀大橋	7月8日（土）	10:00	アビスタ正面玄関前
	手賀大橋～滝下不動前	8月6日（土）	14:00	手賀大橋袂の漁協前
	あけぼの山周辺	7月9日（土） 8月13日（土）	14:00	柏市農業公園の駐車場
G2	手賀の丘公園・染井入落 （並びに）北柏ふるさと公園～ヒドリ橋	7月4日（月）	9:00	手賀丘公園どんぐりの家
		8月1日（月）		北柏ふるさと公園駐車場
G3	谷津田～五本松公園	8月18日（木）	9:00	成田線東我孫子駅前広場
	浅間橋周辺	7月21日（木）	9:00	浅間橋

8月の全体メンバー会議は8月14日（日）13:30～けやきプラザ10階A会議室にて開催する予定です。

世話役

G1 グループ 佐々木隆 電話 080-5507-5343

G2 グループ 野口隆也 電話 04-7163-7898：松下勝子 電話 04-7191-4438

G3 グループ 鈴木静治 電話 04-7169-4191

会 員 便 り (ab - yacho より)

【北新田】

・北新田では4月10日から水張りが開始され、水張り田でムナグロが見られるようになり、10日には5羽、14日には20羽見られました。

・昨日14日からセッカのさえずりも聞かれるようになりました。(2011.04.15 中野久夫)

・昨日(14日)越流堤横の河川敷でホトトギスが鳴いていました。カッコウの声はまだ聞いていません。

・北新田の田植えはほとんど終わり、あと数枚の田んぼを残すだけになりました。(2011.05.15 中野 久夫)

【房総風土記の丘】

今日は、房総風土記へ出かけてきました。風土記の丘の資料館の裏側の森で、何年かぶりのセンダイムシクイの声を聞きました。緑の葉が多くなっていますので、姿は見る事ができませんでしたが、この一帯で、7個体の声がありました。ビンズイがまだ何羽か残っています。そのうちの1羽は、他のビンズイよりも大きく、胸の茶色の縞が太く、色が明るい茶色で、腹部には縞がありませんでした。タヒバリの夏羽? コジュケイは、恋の季節に入っていて、あちこちで盛んに鳴きあっていました。チョットコイの前に、ヒョーヒョーとの声を出すので、ヤマゲラの繁殖期の声でないかと疑ってしまいます。 坂田ヶ池には、コガモとハシビロガモがかなりの数とどまっていました。(2011.05.04 田丸喜昭)

【コアジサシ】

水の館隣の客のいなくなった釣堀で、1羽のコアジサシがさかんにダイビングを繰り返していました。彼(彼女)に適した魚がいるのかな? と思って、しばらく見守っていました。残念ながら、収穫なしで沼に飛んで行きました。(2011.06.01 松田幸保)

繁殖時期にコアジサシ♂は、近くに待つ♀に求愛給餌をするために、盛んにダイビングを繰り返す、餌取りに成功すれば、♀に運び、口移しで餌を渡します。今度は、♀が近くにいるかを確認して辛抱強く観察をしてください。(2011.06.04 田丸嘉昭)

【センダイムシクイ】

朝の散歩の時、天王台地域に唯一残された小さな林でセンダイムシクイの声を聞きました。やや! と思ひ声の方向を探すと、そこには突き出た枝に止まってチヨチヨビーと囀っているヒヨドリがいました。ヒヨドリが他の鳥の鳴きまねをする事はフィールドガイドでも指摘されていますがおかげでセンダイムシクイの声を聴くことができルンルン気分帰宅しました。(2011.06.04 首藤佑吉)

【スズメの交尾】

先日、うちの近くの交差点で信号待ちをしているとき、頭の上の電線で、スズメが交尾を繰り返していました。♀は同じ場所を動かず、♂が交尾をすると、飛び上がり、3秒ぐらいでまた交尾を繰り返しました。信号が変わるまでに、5回は確認しましたが、その後はわかりません。鳥の交尾は何回か目撃していますが、何回も繰り返すというのは初めてでした。(2011.06.04 田丸嘉昭)

【浅間橋】

寒暖の差が激しい日が続いていますが、浅間橋周辺では初夏の鳥がみられるようになりまし
た。ヒバリ、セッカ、オオヨシキリが河原で、浅間橋周辺のヒメガマ、マコモの生えた中
州にはオオバン、カイツブリ、ゴイサギの他に、ヨシゴイが中州に飛び込むのが見られるよ
うになりました。初認は5/19ですが、6月に入って多くなったようです。 当分ヨシゴイは
見られますので、是非見に来て下さい。出来れば、早朝がお勧めです。(2011.06.06 鈴木
静治)

【ホトトギス】

岡発戸市民の森あたりでさえずっていたホトトギスが鳴きながら飛んできて、沼を横断し
て柏側へ渡りました。沼の上空では無言でしたが、柏側でまたさえずっていました。なお、
ピオトープそばの水田にコブハクチョウの親子が居ついているようで、さかんに稲の苗を食
べていました。農家の反感が心配です！(2011.06.08 松田幸保)

平成 23 年度定期総会報告

平成 23 年 4 月 10 日(日) 午後 1 時 30
分～午後 2 時 30 分 水の館 3F において平
成 23 年度定期総会が開催されました。平成
22 年度事業報告および平成 22 年度決算報
告、平成 23 年度事業計画案および平成 23
年度予算案について提案説明があり、討議の
結果原案どおり可決されました。また、新た
に役員を選出が行われました。
総会出席者は 28 名でした。

平成 23 年度事業計画

1. 探鳥会の実施

定例手賀沼探鳥会

手賀沼をフィールドとして、原則毎月第
2 日曜日に開催します。

遠出探鳥会

日帰りで近県などへ出かける探鳥会を
8～10 回程度、1 泊 2 日の探鳥会を 3～
4 回実施します。

第 22 回バードウィーク手賀沼探鳥会

「Enjoy 手賀沼！」(同実行委員会主催)
のイベントの一つとして実施されます。
我孫子市鳥の博物館と当会の共催です。

市民手賀沼探鳥会

我孫子市環境レンジャー、我孫子市と当
会の共催です。

2. 野鳥等の調査及び保護など

手賀沼水鳥カウント

手賀沼で見られる水鳥の種類と個体数
を毎月 1 回調査します。1977 年から実
施しており、今年は 35 年目になります。

データベースの整備

手賀沼の水鳥カウント及び会員から寄
せられた鳥情報によるデータベースの
構築を引き続き継続します。

傷病鳥の保護など

市内で発見された傷病鳥や幼鳥などを
保護・飼育し、快復すれば、放鳥します
(県鳥獣保護ボランティア活動の一環)

3. 環境保全活動

クリーン運動に参加

例年の手賀沼ふれあい清掃に参加する
ほか、本年度も当会の行事として手賀沼
探鳥会の観察ポイント(沼の南岸)を中
心にクリーン作戦などを行います。

美しい手賀沼を愛する市民の連合会の
活動に参加

同会の構成団体として、手賀沼の浄化活
動など積極的に参加します。

4. 啓発広報活動

会報の発行、配布

会報「ほーほーどり」を隔月に発行、配

布して会員間のコミュニケーションをはかります。又会報は公共機関、学校、友好団体などに贈呈し、当会のPRと野鳥保護思想の普及に役立てます。(発行部数300部)

HP(ホームページ)の運営
内容の充実を更に計ります。

メーリンググループの運営
会員相互間のホットなコミュニケーションの場として、参加者の増加を計ります。

対外広報
当会の活動内容や手賀沼周辺の野鳥情報などの発信を積極的に行います。

探鳥会の指導
学校や他の団体から手賀沼周辺の鳥を観察指導の依頼には可能な限り対応します。

対外発表など
当会の活動内容を積極的に外部に情報発信し、当会の存在をアピールします。地元で開催される環境等野鳥に関係があるイベントには積極的に参加し、会員の日常活動の成果を発表し、会の目的実現に向けての啓蒙に努めます。

5. 創立40周年記念行事

創立40周年記念事業は以下の事業を実行委員会を中心として企画・立案・推進します。

記念誌(データ解析)

記念誌(探鳥ガイド)

記念パーティ

記念講演会

記念探鳥会

会員による記念発表会

6. その他

映写会、勉強会の開催

会員が撮影した野鳥や昆虫、植物などの写真、ビデオなどを観賞すると共に、識別や生態などの勉強の機会とします。

行政の委員会などへの協力

行政機関の各委員会、意見交換会などには積極的に参加し、意見を提出します。

会議の開催

定期総会(4月)幹事会(年6回)を定期的に開催し、会運営上の諸問題を検討、処理します。

会員の親睦行事

季節に応じ、適切に行事を計画して会員の親睦などをはかります。(納涼会、芋煮会など)

平成22年度決算および平成23年度予算

	(単位 円)	
	22年度決算	23年度予算
収入の部		
会費	309,000	300,000
会行事収入	1,150,480	1,500,000
その他の収入	91,076	0
積立金取崩し		1,000,000
前年度繰越金	165,331	189,562
合計	1,715,887	2,989,562
支出の部		
野鳥の部	1,140,184	1,540,000
環境保全の部	197	10,000
啓発活動の部	203,101	250,000
庶務の部	73,474	101,000
その他費用	9,369	50,000
40周年記念事業		1,000,000
別途積立金	100,000	0
次期繰越金	189,562	38,562
合計	1,715,887	2,989,562

役員改選

会長 間野 吉幸(再任)

副会長 宮下 三禮(再任)

野口 隆也(新任)

会計監査 六角 昭男(新任)

類地 佑子(新任)

任期: 23年度~24年度

新入会員紹介

村松 洋子(我孫子市)

村松 直道(我孫子市)(家族会員)

船津 登(柏市)

村松 寿夫(松戸市)

訃報

顧問の赤尾 完 さんが4月13日にご逝去されました。葬儀はご親族にて執り行われました。享年82歳。心よりのご冥福をお祈りいたします。

5月幹事会報告

日時 5月8日(日) 13:30~16:30
場所 こもれび 調理室
議題

1. H23年度下期行事予定を検討した(別表参照)
2. 会報221号記載記事について検討した
3. 報告事項・検討事項

「LOVE OUR Bay 基金」助成金を千葉県環境財団に申請し8万円の交付金を受託

美手連関係

- ・40周年記念誌に対し美手連交付金の20万円受託決定。

- ・手賀沼流域フォーラム我孫子企画として、11月20日(日)に親子探鳥会を実施

- ・5月29日に美手連の総会と講演会を実施(水の館研修室)

市民活動フェア in あびこ2011 6月18日~19日に開催。当会は環境分科会に属しパネル展示で参加。

手賀沼学会 7月16日に中央学院大学で開催される。当会は魚を食べる水鳥についてパネル展示で参加。

我孫子市から我孫子市農業振興協議会委員推薦要請を受け、類地佑子さんを推薦。(任期2年)

23年度幹事23名を決定した。新任幹事3名、退任幹事5名

川瀬巴水木版画展再開 11月下旬再開予定。佐々木幹事が担当

顧問の赤尾 完 さんが4月13日にご逝去。享年82歳。心よりのご冥福

を。

2011年度のJBFは10月22日~23日に開催される予定

長寿大学探鳥指導 5月19日に実施され、当会会員7名が担当し場所は岡発戸・都部の谷津田で行われる

平成23年度下期行事予定表

期日	平成23年度下期行事
10/09(土)	Am 手賀沼定例探鳥会・かつ Pm 手賀沼クリーン作戦
10/22(土) 23(日)	ジャパンバード フェスティバル
11/13(日)	Am 手賀沼定例探鳥会・かつ Pm 幹事会
11/20(日)	手賀沼流域フォーラム親子探鳥会
12/04(日)	手賀沼ふれあい清掃
12/11(日)	手賀沼定例探鳥会・かつ
12/18(日)	芋煮会
12/25(日)	酒沼探鳥会
01/03(火)	小見川・神之池・江戸崎探鳥会
01/08(日)	Am 手賀沼定例探鳥会・かつ Pm 幹事会
01/15(日)	銚子カモメ探鳥会
01/29(日)	市民手賀沼探鳥会
02/05(日)	井頭公園探鳥会
02/12(日)	手賀沼定例探鳥会・かつ
02/18(土) 19(日)	清里高原探鳥会
03/11(日)	Am 手賀沼定例探鳥会・かつ Pm 幹事会
03/18(日)	北本公園探鳥会
03/未定	40周年記念パーティ

23、24年度幹事

氏名	主な担当
浅井 久	定例探鳥会、鳥便り
猪爪 敏夫	遠出探鳥会、会報
大矢 篤	啓発、ホームページ
金子 幸子	啓発

北原 建郎	定例探鳥会、カウント、事務局
桑森 亮	定例探鳥会、遠出探鳥会、カウント
小玉 文夫	遠出探鳥会、会報
古出 洋子	遠出探鳥会
小林 寿美子	定例探鳥会、啓発
佐々木 隆	定例探鳥会、カウント、会報
首藤 佑吉	遠出探鳥会、啓発
鈴木 静治	遠出探鳥会、会計
染谷 迪夫	カウント、事務局
田中 功	遠出探鳥会、カウント、データベース

田中 恒雄	啓発
田丸 喜昭	遠出探鳥会
野口 紀子	定例探鳥会、会報、ホームページ
松下 勝子	啓発
松田 幸保	定例探鳥会
松本 勝英	遠出探鳥会、会報
吉田 隆行	ホームページ、写真集
類地 佑子	遠出探鳥会、啓発
六角 昭男	遠出探鳥会

赤尾さんを偲んで

首藤佑吉

赤尾さんへ

赤尾さんご逝去の報に接し信じられない気持ちで立ち尽くしました。私が我孫子野鳥を守る会に入会した頃、何人かの先輩に野鳥観察の初歩を指導して頂きました。その方達の人格の大きさと知識の深さにうたれ、見上げる気持ちで皆さんの後を歩いてきました。その諸先輩の中のお1人が赤尾さんでした。

現地での観察指導に加え、赤尾さんご自身が撮影された野鳥ビデオは初心者にとって最良の勉強資料になりました。数字を扱うのがお得意のようだとお見受けしていましたが、30年間に及ぶ手賀沼の鳥の統計資料をCDで頂き、拝見しその素晴らしさに打たれ、またとない貴重な資料を我が会に残されたことに深く感謝いたします。

我が会がほぼ40年の長きにわたり活性を維持しているのは赤尾さんのご尽力が寄与して大と思います。それなのにCDを頂いてから幾日も経ず赤尾さんは帰らぬ人となりました。また1人、かけがえのない方に旅立たれ残念な思いで胸が一杯です。会員一同、感謝をこめて心からご冥福をお祈りいたします。

会員の皆様へ！ 新会員の募集・紹介のお願い

我孫子野鳥を守る会はお陰様で、今年の3月31日現在で普通会員152名、家族会員54名、合計206名になりました。来年の3月にはいよいよ40周年を迎えることとなります。今年から来年にかけて楽しい行事がメジロ押しです。そこでこの機会に会員の皆様にお願ひがあります。

ぜひお近くの方やお知り合いの方に、下記の当会活動紹介を参考に、皆様のご体験を加味されて入会のお勧めを頂ければ幸いです。

「我孫子野鳥を守る会」の活動紹介

当会は1972年に設立された千葉県で最初の野鳥愛好団体です。

自然のなかの野鳥を楽しみ、野鳥を愛するところを育てるとともに、野鳥を通じて自然保護に努め、人と鳥が共存する環境づくりを行い、あわせて会員の親睦を図ることを目的としています。

活動 定例探鳥会 毎月第2日曜日 我孫子市役所前9時集合
遠出探鳥会 地元を離れ環境条件が異なる遠隔の探鳥地を日帰り、又は一泊で訪れます。

探鳥等の調査研究

野鳥を中心とする自然保護に必要な諸活動

会報「ほーほーどり」の発行

会員の親睦行事その他

年会費 一般2,000円 大学生・高校生1,000円 中学生以下500円
家族会員無料

お問合せ先 〒270-1154 我孫子市白山1-9-4
染谷迪夫方 我孫子野鳥を守る会
電話/FAX 04-7182-3972

ホームページ [我孫子野鳥を守る会 | 検索](#)

野口（隆）記

ほーほーどり No.221 (2011年7～8月号)

発行 2011年7月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 染谷迪夫 〒270 1154 我孫子市白山 1-9-4 Tel: 04 7182 3972

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)